

一般社団法人水橋フットボールクラブ設立趣旨説明

一般社団法人水橋フットボールクラブ
理事 尾島和久

水橋 FC は今年でジュニア 18 年目、ジュニアユース 13 年目を迎えました。

これまで、ボランティアで指導いただいている指導者の方々、運営をサポートしていただいている保護者の方々や、その他たくさんの方々を支えられ、今日があると思っています。

私も今から 40 年前に水橋 FC の前身である少年団の一つ天瀬サッカー少年団（水橋西部小学校）で 1 年生の時にサッカーを始めました。（長治総監督は 5 年生の時のコーチです。）

その頃は子供達の数も多く各小学校にサッカー少年団がありました。しかし、時代は流れ少子化の影響で、どこの少年団も子供達の数が減っていききました。そこで、いち早く水橋の少年団を統合し、水橋 FC を立ち上げたのが堂口代表ら当時の指導者の方々です。

そして、現在、核家族化や共働き等、様々な事情でサッカーをやりたくても送迎が難しく参加できない子供達や、仕事に追われ出たくても平日の指導に出られない指導者の方々が増えています。

水橋 FC も例外ではありません。小中学校で 150 名超、今や BIG クラブの一つになっていますが、指導体制やサポート体制、そしてリスクマネジメント等の部分では決して万全とは言えません。

今後も、より安定的で継続した活動を続けていく上で、クラブを法人化し弱い部分を少しでも強化できる体制を整えていきたいと思い、たくさんの方々のご協力の元、堂口代表を理事長に平成 27 年 4 月 1 日一般社団法人水橋フットボールクラブを設立いたしました。

今後の活動計画として、短期的にはサッカー人口増加のために幼稚園まわり等の普及活動、平日の指導者不足に対する指導者派遣。中期的には送迎面での保護者のサポートとして、マイクロバスでの送迎。そして、長期的には水橋 FC 専用グラウンドとクラブハウスの保有を目標としています。

また、小中学生のサッカーだけではなく、総合型地域スポーツクラブとして多世代多種目に渡るスポーツ活動の場を提供していきたいと思っています。（5 月からはヨガ教室を始めます。）

今後も、より一層子供たちが輝けるよう、そして、水橋 FC に関わる全ての方々が笑顔になれるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。